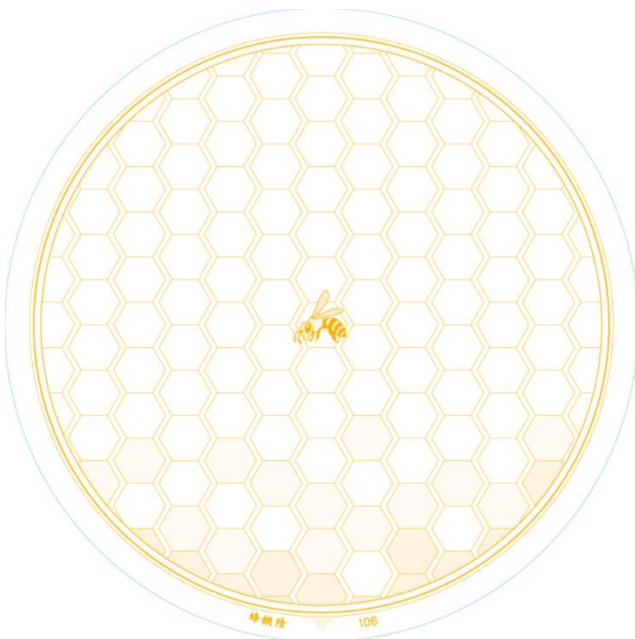


めずらしい丸型の原稿用紙に種類追加

まる  
「〇ふで箋」

原稿用紙界初の六角形マス



株式会社あたらぼうは、飾り原稿用紙の「〇ふで箋（まるふでせん）」に新色・新デザインを一種類、追加します。9月下旬より販売する予定です。〇ふで箋は2022年7月に業界初の丸い原稿用紙としてリリースしました。形状が丸いため、一般の原稿用紙とは全く形の違う製品となっていますが、今回、さらにその異色さを際立たせるデザインとなっています。

前作の〇ふで箋と同様、文字数が少なめで106文字分となっています。このため、用途としては短い文章の「書写」や一筆箋のような利用法、お手紙などを想定しています。

#### ■商品詳細

紙は、これまでの飾り原稿用紙シリーズ、〇ふで箋と同じ、「キンマリスノーホワイト」を使っています。これまで飾り原稿用紙を利用してきたユーザー様にもなじみやすいものです。印刷色はハチミツをイメージした色を採用しています。

全体が丸型で、マスが六角形のため、はっきりした文字数は表記できませんが、概ね106文字程度が記入できます。

名称は、蜂網陸（はちあみりく）としており、「陸」は「ろく」から来ています。下の方のマスの一部には、ハチミツが溜まっている様子を表現しています。なお、紙の直径は140mmです。

経木でできた〇ふで箋ボックスも、この蜂網陸を追加して3種を同梱したパック品を用意する予定です。詳しくは、以下、商品種類などをご覧ください。

## ■商品種類

名称	サイズ (mm)	包装サイズ (mm)	枚数
飾り原稿用紙まるふで箋 蜂網陸	直径 140mm	160mm×145 mm	50 枚
飾り原稿用紙まるふで箋 3 種パック	直径 152mm 高さ 22 mm	同左	150 枚

## ■JAN、型番、価格等

名称	JAN	型番	価格 (税別)
飾り原稿用紙まるふで箋 蜂網陸	4582486341922	MF-0003	680
飾り原稿用紙まるふで箋 3 種パック	4582486341939	MFB0002	2,200

※まるふで箋 3 種パックの発売により、MFB0001 は廃番となり、MFB0002 へ移行します。

## ■発売予定日

2022 年 9 月下旬を予定

以下参考

## ■まるふで箋、商品開発経緯 (2022 年 7 月時点のもの)

— 箱の形状から形を —

飾り原稿用紙の新色を検討する中で、代表の佐川は「箱」の活用を模索していました。元々、弊社製品である「ふたふで箋」用に桐箱を作ったことがあり、昨年末に限定数販売を終了しました。その流れで A4 サイズの桐箱も検討しておりましたが、桐箱では技術的な問題で、なかなか A4 サイズの箱を作るのが難しい状況でした。また、他の木材でもどうしても「反る」問題を解消できない状況でした。

そのような中で、代表の佐川が営む「経営コンサルティング事業」の中で弁当関連の事業者を支援する機会がありました。弁当に使われる経木の箱に興味を覚え、丸型や楕円形の原稿用紙があっても面白いのではないかと思いつきました。

— デザイナーと監修者が乗ってきた —

当社の飾り原稿用紙デザイナーである horirium 氏と監修者である小日向京氏に、この「丸型」の原稿用紙についてすぐに Twitter の DM で相談しましたところ、「大いにアリ！」との反応でした。すぐに、horirium 氏がデザイン案を送ってこられました。それが、今回の桃色の方のデザインでした。代表としては、「これじゃないけど、これもすごい面白い」と考え、元々のイメージの緑色の方のデザインも horirium 氏に依頼しました。これらを見て監修者の小日向京氏は「焼き網」のように見える！とご発言されたので、これが名前の素となりました。

— 抜きの問題 —

企画とデザインは進んでおりましたが、印刷工場に相談したところ、「紙が薄いので、抜きが難しそ

う」という話が戻ってきました。できなくはないということでしたが、ヤレ（紙がクシャッとなること）が発生しそうという回答でした。また、焼網壺などの名称のエリアが抜く際のずれによって落ちるかもということで、位置の変更などを余儀なくされました。

しかし、これらも horirium 氏のデザイン力でうまく回避でき、製品にたどり着けました。

#### ー経木の弁当箱ー

この丸型の原稿用紙を入れる箱として考えていた「経木の弁当箱」。インターネット上で探してみると、数多くの弁当箱がありました。が、そのほとんどが深さ5センチほど以上。紙を入れるには深すぎます。そのため、まずはサンプル品としていくつかの業者から購入してみました。品質には大きな差がなかったため、「オリジナルサイズ」に対応してくれる業者をあたりました。

1社に目星をつけて「サンプル作成」を依頼しました。思った以上のサンプル価格に驚きましたが、これを乗り越えないと製品が作れないということで投資しました。業者側からも「こんなの作ったことがないので大丈夫かわからない」と言われながらやっていただきました。

最終的にサンプルに問題がないことを確認して、零細にとっては想像以上の大きさのロットでしたが、制作しました。

#### ー最終的に弁当をイメージー

以上のような流れから、「弁当箱」をイメージした製品パッケージにすることとしました。箱の上部に弁当の名前をイメージしたシール、裏面にはバーコードと食品の内容を表すような表記ラベルを配置してあります。

#### 【株式会社あたぼうとは】

中小企業診断士である代表取締役の佐川が2009年に設立。東京を中心に、中小企業の経営コンサルティング、IT導入コンサルティング、研修講師等の事業展開をしている。また、時間管理や文房具業界を研究しており、その一環でスライド手帳や文房具の開発販売を行っている。

2016年日本文具大賞 デザイン部門 グランプリを「飾り原稿用紙」碧翡翠で受賞。

文具事業開始当初から、スライド手帳などのシステム手帳リフィル製品を開発・販売しており、数年前よりじゃばらんだシリーズをデザイナーの horirium 氏の協力を得て、販売を開始した。

#### 【本件の連絡先】

株式会社あたぼう 代表取締役 佐川博樹

Tel 042-843-1159 FAX 042-586-1214

e-mail : info@slide-techo.com / URL : <https://www.slide-techo.com/>

〒191-0052 東京都日野市東豊田 1-53-16

